

はじめに

本書『診療放射線技師学生のためのなんで なんで？ どうして？ 放射線計測学』は、診療放射線技師国家試験出題基準に基づいた放射線計測学の国家試験対策本です。

診療放射線技師になるためには大学や専門学校を卒業し、国家試験に合格しなければなりません。座学教育を受けて臨床実習（臨地実習）に臨むこととなります。病院で患者の命に関係する診療を行うためには、国家試験の合格を優先して目指す必要があります。大学等では放射線計測学は専門基礎科目です。

かつて、大学生から「専門基礎科目の知識をどうしたら覚えられますか」と尋ねられたことがあります。この時は、どうすれば学生にわかっていたかであろうかと考えさせられました。このことを考え、工夫した参考書が本書です。「診療放射線技師国家試験基準」に基づいて執筆し、平易な文章・図・表が多用しています。会話形式でわかりやすく書いたつもりです。また、本書で実力がつき、国家試験の合格点を確保できるようになることは間違いありません。

そこで、皆さんに守って頂きたいルールがあります。本書を少なくとも3回読み、解答がなんでこうなるのかということ覚えてください。知識の習得に際して「私は暗記が苦手だ」と思わずに、「なんで」ということを考えて暗記してください。

人間は人生の中で「もっと勉強をしておけばよかった」と思う時期があります。それは「今」です。この気持ちを大切に、人生の道を間違えないようにしてください。

また、社会人として患者の診療を行っている診療放射線技師の方々も、本書によって不足した知識を補って頂きたいと思います。患者の診療で「知らなかった」ということがないように専門知識を学習して頂きたいのです。本書を学ぶほどに放射線計測を担うプロフェッショナルの診療放射線技師の姿が見えてくることでしょう。

最後に、本書の出版にあたり、ご尽力いただいた医療科学社編集部齋藤聖之氏にお礼を申し上げます。

2022年6月

著者 熊谷孝三